

はまおう (浜桜)

R3 年度特別号 (通算 No.46)

■発行者
博多校区大浜社会福祉協議会
■事務局
大浜公民館内
TEL 281 - 0343 (10:00~16:00)
FAX 262 - 4619 (24 時間)

そうたい！作ろう！よか大浜



～私の笑顔をおあなたに！ あなたの笑顔を私に！～

今回は、当会の「支えあいのしくみ」(ふれあいネットワーク・子育てサロン・ふれあいサロン・はまおう助っ人センター・町内助っ人サポーターチーム) を特集しました。
この紙面では書き尽くせない日常の活動が行われています。一人ひとりの地道な活動が、人々のつながりを広げていっています。「福祉」という言葉は幸せを意味しますが、幸せは「仕合わせ」とも書きます。とりわけ、地域における福祉＝幸せとは、仕合わせ＝めぐり合わせが呼び込む幸せなのかなと感じています。上記しくみに関わるボランティアさんは、支えたり支えられたりしながらどこか楽しげで、「私の笑顔をおあなたに！あなたの笑顔を私に！」を実現しているように思います。誰もが自分の力で参加できるよう、これからもがんばります。 よろしくお願ひします m()m

ふれあいネットワーク

平成 8 年 8 月創設

代表 中村峰子
副代表 柴田光男
会計 友納郁子
※ 5 月から役員交代



大浜地区内の一人暮らしのご高齢の方や障がいをお持ちの方、ご高齢の方のみの世帯、障がいをお持ちの方がいる世帯の方、子育て世帯等を対象に、見守り、訪問(声かけ)、日常生活支援などの活動を主としています。奇数月に全体会議(年6回)を開き、民生委員・児童委員の方も参加して、互いに学び合いながら情報交換をしています。

全体会議を通じて、ボランティアの皆さんと情報交換ができ、さらに博多区地域保健福祉課、博多区第1いきいきセンター、博多区第1障がい者基幹支援センター、博多区社会福祉協議会の方々の意見や注意事項を知る事ができて、私たちもいろいろと学ばせてもらい、得るものが満載です。

私たちと一緒に活動できる方は、ぜひご連絡ください。待ってま～す！

みんなでできる安心感
できる事を、できる人が、
できる時に！

ふれあいネットワークの頼りない代表として2年目。続くコロナ禍、今年度もなかなか思うような活動ができませんでした。ネットワークの皆さんが担当している方々を訪ねることができない、またお見かけする機会が減ることで、心配する声が多く聞かれました。

- ① 散歩や外出の機会が減り体力が弱った。
- ② 訪ねても反応が乏しい。
- ③ 転倒などで入院された。

という報告がありました。厳しい現状ですが、ネットワークの皆さまが地域のためにいろいろと工夫され、つながりを大切に参加されてあることをなお一層痛感した一年でした。私たち見守る側も同時に高齢化するのですが、地域活動は自分の成長のため地域や社会のしくみを知ること知識も深まる活動です。

ふれあいネットワークに地域の方々が積極的にご参加くださるよう、引き続き皆さまと活動を進めてまいります。

(代表 中村峰子)



厳しい寒さが去り、春を迎えました。
一昨年からの2年間、新型コロナウイルス感染症の影響により、主な地域行事もできず、また、博多の伝統文化である「博多祇園山笠」や「博多どんたく」も延期などになり、地域にとって辛く寂しい日々が続いています。
何よりも「人と人とのつながり」を大事に考えている大浜社協においても同様で、なかなか思うような事業の展開ができませんでした。
しかしながら、社協の活動は止められません。
その理由の一つに地域の方の心の健康、体の健康の問題だと考えます。



大浜公民館 戎崎淳一館長

特に高齢者夫婦世帯、高齢者のひとり暮らしの世帯は、これまでそうだったのですが、この新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、ますます外出ができない状況が続いていると思います。また、子育て中の親子も、なかなか安心して外には出られない状況です。
多くの笑顔が見られるように、このコロナ禍の中でも今できることを考え、「ふれあいネットワーク」「助っ人センター」「ふれあいサロン」「子育てサロン」「民生委員児童委員会」「男女協」「衛生連合」「老人クラブ」など地域内の様々な団体と一緒に、高齢者に対しての事業やサロンの実施、また子育て世帯のサロンも感染対策をしっかり取りながら、できる限り実施しています。

社協の活動を理解され、「できる人が、できることを」そして「楽しむ」をモットーに、活動にご参加いただける方はご連絡ください。
「ふれあいネットワーク」の皆さまが地域のためにいろいろと工夫され、つながりを大切に参加されてあることをなお一層痛感した一年でした。私たち見守る側も同時に高齢化するのですが、地域活動は自分の成長のため地域や社会のしくみを知ること知識も深まる活動です。
ふれあいネットワークに地域の方々が積極的にご参加くださるよう、引き続き皆さまと活動を進めてまいります。
公民館は大浜社協の事務局を担っています。社協の事業と連携、調整しながら少しでも公民館に足を運ぶ機会が増えるよう、一緒に知恵を出し合い、地域の皆さんから、「ありがとう」「よかつたよ」「またね」と声をかけられる公民館でありたいと思います。
みんなで新型コロナウイルス感染症の終息を迎えて、以前のような生活、活動が一日でも早くできるようになることを願っています。

“よか大浜” みんなの手で！！

絡ください。

さて、公民館が持つ役割の一つに、公民館という場を通じた住民相互の「つながりづくり」があります。

「人はひとりでは生きられない。」人によって考え方に違いはありますが、一般的によく言われています。

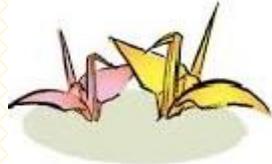
その意味からも、また、心と体の健康を維持するために週一回、いや月一回でも公民館に足を運んでもらい、いろんな人との交流を深めてもらいたいと考えています。

交流が楽しい！ ふれあいサロン

●大浜ふれあいサロン

平成12年11月～

代表:大須賀照代
場所:大浜公民館
日時:第3月曜日
13:30～
※大浜地区全体



●「オレンジ」

平成30年7月～

代表:柴田光男
場所:大博7区集会所
日時:第2水曜日
13:00～
※ご近所サロン



コロナ禍の「オレンジ」

- 2021年4月14日(水) 健康講座
講師:地域保健福祉課3名
内容:①認知症について
②コロナ感染防止について
③運動&ゲーム
- コロナで5・6・8・9・1・2月と6回の中止を余儀なくされた。
開催できた月も、三密を避け、机・イスの消毒、マスクの着用、手指の消毒、体温測定、血圧測定を実施。
- 主な活動内容
ラジオ体操、お茶・コーヒーを飲みながらの談笑、生活状況について話しあう、お手玉のカゴ入れゲーム(点数をつけて盛り上がる)、締めはカラオケ!
(代表 柴田光男)



●よりどころ はまおう

令和元年6月～

代表:大石和子
場所:大石宅
日時:第3金曜日
13:00～
※ご近所サロン+α



大浜社協・博多区社協では「ご近所サロン」や「地域カフェ」開設の支援を行っています。ご近所同士のつながり合いやさまざまな世代の交流を、あなたの町内やマンションで作ってみませんか？

「楽しい大浜」を私たち自らの手で！

「しゃきょう」って？ 写経？ いえいえ、社協！

ほら、ソーメン流しをしたり、みんなで楽しくおしゃべりしたり、ちょっとした困り事のお手伝いをしたり、…、みんなで集まるのが大好きな**社会福祉協議会**ですよ！
これからも**みんなで「よか大浜・楽しい大浜」**を作りましょうね(・_・)ノ

子育てサロン



平成14年～
代表:井上育世
場所:大浜公民館
日時:第2・第4水曜日
10:30～12:00

子育てサロンは第2・4水曜日、10時30分から12時まで公民館の講堂で実施しています。
毎回参加してくれる親子もいます。子ども達は仲良くなったお友達とお気に入りのおもちゃで遊んだりして楽しそうに過ごしています。お母さん同士も仲良くなって会話が弾んでいるようです。子育てが「孤育て」にならないよう、この子育てサロンで仲間づくりをしてもらえたらいいなと思います。
今後も感染拡大防止に気をつけながら、たくさんの親子に安心して子育てサロンに参加してもらえるようにしていきたいと思います。(代表 井上育世)

年に一度はみなと保育園の先生と情報交換も

ママも！パパも！
お子さまと一緒に
サロンでゆったり！



はまおう助っ人センター

令和3年度活動報告

平成25年にはまおう助っ人センターが設立されました。今年度で8年を経過しています。
地域の周りの困りごと、特に人を集めるお手伝いに少しはお役に立てているかと思っています。活動開始以来、年間約70件、月平均6～7件の活動状況でした。
しかし、令和2年からのコロナ禍で密になる事ができず、人を集めて行う活動が困難になりました。助っ人センターとしての活動が停滞する中、平成26年に設置された町内助っ人サポーターチームの活動は継続しています。隣近所の助け合いに似た小さな活動ですがコツコツと助け合い活動が展開されていました。
コロナ禍の社会に加え、助っ人センター活動者の高齢化が必至の現在、今後も隣近所の助け合いチームは大切な存在だと思います。地域の絆社会を強める意味でも活動の中心として継続していきたいと思っています。
皆さまにも積極的に参加していただくことで、町内助っ人サポーターチームがますます発展できればと念願をしています。(代表 田北隆喜)



追悼



去る3月10日(木)に大博町の徳久敏幸様がお逝去されました。「はまおう助っ人センター」の立ち上げから運営・支援活動に関わっていただき、大浜社協の活動にも尽力いただきました。大博4区の自治会長、大浜の自治協議会会長としても地域活動にご活躍されました。また、80才を越えてなお資源回収に汗を流して参加され、私たちも楽しくご一緒させていただきました。地道な活動にフットワーク軽く関わるその姿は、私たちが地域活動を行う上での生きたお手本でした。私たちはあなたの無言の遺志を受け継ぎ、さらに先まで進めるように力を尽くしたいと思っています。どうか見守ってください。深い感謝の念とともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

助っ人センター一同
社協役員一同



合掌

